



SALVATIONIST

とぎのこえ

2021年標語「主によって練られ、備えよう」(マラキ書3章3節)



初夏号

広報版

2021

May-June

No.2818

二〇二一年五月十五日発行

明治二十八年創刊

福音版・毎月一日発行

広報版・奇数月十五日発行(除く七月)

2021年 救世軍標語

「主によって練られ、備えよう」

聖書箇所：マラキ書3章3節

彼は精錬する者、銀を清める者として座し
レビの子らを清め
金や銀のように彼らの汚れを除く。
彼らが主に献げ物を
正しくささげる者となるためである。

ときのこえ SALVATIONIST

初夏号 広報版
2021 May-June
NO.2818



新司令官及び 新軍国女性部会長就任！

2021年4月1日、司令官 スティーブン・モーリス大佐及び軍国女性部会長 ウェンディ・モーリス大佐が就任しました。

就任以来、オンラインでの各集会、救世軍公式SNSや各種出版物を通してメッセージを発信しています。新しい指導者を迎え、日本の救世軍のミニストリーがいよいよ祝福され前進するよう祈りましょう。



@SAArmyJP



SAArmy_JP



救世軍
The Salvation Army

きりと

- ☐ 『ときのこえ』購読を申し込みます。
(1年分1140円。税込、送料別)
- ☐ キリスト教についてもっと知りたいです。

ご氏名 _____

ご住所 _____

表紙の写真：イースター・コンサート
で熱唱する、堀井ローレンさん、小
坂忠さん（撮影：石川里志）

もくじ

■メッセージ	人と人を結びつけるペンテコステの奇跡 司令官 大佐 スティーブン・モーリス	 3
■〔連載〕聖潔の流れに立つ 第16回	ブレンダルの生涯と聖潔 中將 吉田 眞	 4
■証言	眞鍋嗣道中尉、眞鍋恵中尉、 張田望中將	 5
■集会報告	『恵みを伝える者』の学年 士官任官式及び新任士官任命式	 6
	『聖潔を映し出す者』の学年 士官候補生歓迎集会 西日本連隊指導者就任式 イースター・コンサート	 7
■各地のニュース!!	麻布 New Hope、 清瀬小隊、広島小隊、 月島小隊、天満小隊、岐阜分隊	 8
		 9
■社会鍋による支援・災害対策室リポート	大森小隊、福山小隊、岡山小隊、 八幡小隊、佐野保育園	 10
■YP（青少年部）・ファミリーニュース	軍国ユースセミナー レボリューション・ジャパン	 11
■『救世軍教理ハンドブック』発行に伴う、 用語検討について	少佐 寺澤眞由子	 12
■〈連載・第10回〉	神の呼びかけ～神の民となるために～ (4) 恵の座への呼びかけ	 13
■救世軍見解表明	社会道德に対する救世軍の立場 第5回「環境への配慮」(2)	 14
■救世軍公報／召天記事		 15
■集会案内		 16

人と人を結びつける ペンテコステの奇跡

司令官 大佐 ステイブ・モーリス

近頃は、わたしたちを結びつけることよりも、わたしたちを隔てることのほうが話題になるようです。イエス様の地上でのミニストリーを知るわたしたちは、イエス様が過ごされた時間は、人々が共有する事柄の下に結び合わされるよう費やされたことを覚えます。

弟子たちは、イエス様が

ローマ政府を打ち倒すのだと信じ、自分たちも政治的リーダーシップを取るのだと息巻いていたその時に、イエス様が十字架にかけられた姿を見ました。すべての夢がそこでついにえた彼らは、ショックで立ち尽くしてしまします。イエス様は十字架にかけられ、弟子たちは自分たちの通常の生活に戻っていききました。もうイエスの時代は終わったのだと考えた彼らは、過去の生活に戻る以外に道はないと思ったのです。イエス様に会おう前の生活に。

彼らはアパールム（階の部屋）に集まり、自分たちの小さい集まりの中で安全を見いだしました。彼らには共有できることが多くありました。三年間、イエス様に自分の命を託したお互いでした。そしてイエス様がいなくなった後も、どう次の一步を踏み出すべきか、集まって共に考えを巡らしたのです。

聖書には、こう書かれています。

「その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、『あなたがたに平和があるように』と言われた。そう言って、手とわき腹とお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。……『父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。』」（ヨハネ20・19、22）

たを遣わす。』そう言うから、彼らに息を吹きかけて言われた。『聖霊を受けなさい。』（ヨハネ20・19、22）

なんとすばらしいどんでん返しでしょうか。自分たちはもう終わりだと思い込んでいた時に、イエス様は再び介入してくださり、文字どおり、彼らに聖霊を吹きかけられたのです。わたし自身も神様に従う道から逸れそうになる度に、神の聖霊が共にいてくださり、自分の力をはるかに超えた力をもってわたしを満たし強めてくださることを感謝しています。神様がわたしにまことを尽くしてくださいることを感謝します。

しかし、弟子たちの物語は続きます。十字架は過越祭の時に起きた出来事でした。四十九日間、早送りしましょう。弟子たちは、刈り入れの祭とも呼ばれてい

た七週の祭を迎えていました。これは後に、シナイ山においてモーセに律法が与えられたことを記念する日もなりました。わたしたちが現在ペンテコステと呼ぶこの日は、直訳では、「五十」ともしくは「五十日目」という意味があります。

この時も弟子たちは共に集まっており、聖書によると、世界中のあらゆる国から来たユダヤ人たちがいる中で、聖霊がかつてない形で臨まれたとあります。これが超自然的な出来事であったという証拠の一つは、そこにいた人々が、それぞれ自分の言語で神様のすばらしさがほめたたえられているのを聞いた、ということにあります。

そこに集まっていた人々は、互いの違いに気を留めることなく、それぞれ自分の言語が話されているので、神様がほめたたえられていることを理解することができたのです。神様がおられる時、わたしたちは人として一致することができ、互いの違いは消え去ります。わたしたちが共に分かち合うものだけが残るのです。それほど日本の皆さんと

早くお会いしたいことでしょうか。共に集まり、神様の御名をほめたたえることができる日を心待ちにしています。わたしたちの間にある、いかなる違いも、聖霊のご臨在のもとにわたしたちが分かち合う共通点のゆえに、消え去ることを祈っています。弟子たちが聖霊を受け、それ以降、世界は二度と同じ場所ではなくなったことをわたしたちは知っています。神様に感謝いたします！

コロナ禍にあつて、わたしたちは礼拝のために集まることができなくなっています。皆さんお一人おひとりにとって、これがどれほど大変なことであるか、想像することしかできません。けれどもわたしたちは、神様を賛美する時、いつ何時でも聖霊が共にいてくださることを確信することができまます。わたしたちは決して独りではないのです。

ウェンディ大佐とわたしは、日本の救世軍の家族に加わることができることを光栄に思います。一日も早く、皆さんとお会いすることができるよう、聖霊が働いてくださることを祈っています。わたしたちは毎日

皆さんのことを祈っています。ぜひ、皆さんもわたしたちのために祈ってください。神様を礼拝する時、どうか聖霊の臨在を感じ、そして御霊が皆さんの霊を励ましてくださるように、と祈ります。まもなく共に礼拝できる日が来ることでしょう。そう信じています！

最後に、ペンテコステにおける聖霊降臨は、神様の宣言命令を成就するためのものでした。「……行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。」（マタイ28・19）わたしたちの今いる場所、その偉大な使命を果たすことができるよう、どうか聖霊が強めてくださいますように。

暗闇が増すこの世界において、わたしたちが光となっていくことができるよう、主がわたしたちを強め、聖霊が共にいてくださいますように。

我らの罪 増すときにも
主のみ恵み いや増せり
悩み重荷 加わるとき
主の安きはさらにあり

キリストの豊かな富
与えたもう おしみなく

〔救世軍歌集〕310番

連載 聖潔の流れに立つ 第十六回

ブレングルの生涯と聖潔

中将 吉田 眞



（承前）これらの学びから、神学的には聖潔が可能であることを確信したが、彼にとっての次の、そして、ある意味では最も大切な段階は、自分自身がそれを経験することであった。ちょうどその頃、一八八四年九月、ボストンに救世軍が開戦したが、そのことについては後に述べることにする。

ボストン大学の中に、オクタゴン・クラブができた。八人の学生によるグループで、日ごとの祈りのためと、ディスカッションのために集まった。ウェスレーのホーリークラブに似たものであった。ブレングルは「ウェスレーが、キリストにあつて全く聖くされるまで主に求め続けたように、わたしたちは強く結ばれていた」と、当時のことを書いている。

この頃、彼はたびたび地区の聖潔の集會に出席し、聖潔を求めた。恵まれたが、求めていた聖潔の恵みは得ることができなかった。自らを省みたとき、自分が聖潔を求める理由が、心の聖さではなく、自分がすばらしい説教者になるための手段としての聖霊を求めていたことに気がついた。「わたしが聖霊を求めていたのは、主を活用するためであり、自分が主に用いられるためではなかった」と、述懐している。

その頃のことを、ブレングルは次のように証している。「わたしは、主の謙遜と自らの高慢に気がついた。

主の柔和と自分の短気、主のへりくだりと自分の野心、主の聖さと自分の醜さ、主の無私の心と自分の自己中心、主の信仰と自分の疑い、これらに気がついた。そして、自分の目を他のすべての人からそらし、ただ、主と自分自身とに向けた。もはや、司教になることを求めはすまい。最も小さな教会、一番みすばらしい任命を求めようと決心した。主がわたしのうちに住み、わたしを聖くしてくださるためならば、愚かに見えようが、失敗者に見えようが、喜んでそれを受け入れようと決心した。そして、祈った。

『主よ、わたしは雄弁な説教者になりたいと思っていました。しかし、もし、つたなく語り、上手に話せないことがより大きな栄光をあなたに帰することができのなら、喜んで、つたなく語り、つかえつつ語りましょう。』

後に彼は、この出来事を、キリストの死に与る経験であった、と表現している。

聖潔は、主の約束とそれを受け入れる信仰によることを、実際の聖潔の経験を通して確認することになる。一八八五年一月九日のことであった。その日、ブレングルは全き献身の結果、神の満たしを経験することを期待した。しかし、何も起こらなかった。明け渡しに不足しているかと思い、さらに祈った。そこで御言葉が与えられた。

「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。」（ヨハネ11:9）

「真実な」方が、「清めてくださ」と約束している以上、自分に必要なのは、その約束を信じる「単純な信仰」であることを理解した。その時、彼の心は全き平安に満たされた。そして、二日後、明白な聖霊の内住を確信することができた。

五十年後にブレングルは、次のような証言をしている。

「この時の輝く恵みの経験は、その後決して消え去ることはなかった。それは、一つの経験というもので

もなく、祝福というものでもなかった。それは、まさに、祝福の主、その方御自身がわたしの貧しい心の中に住まわれた時であった。そして、その貧しい心を聖め、その聖さを保持し、決してわたしを見放すことのないことを約束するものであった。ハレルヤ！

神は、わたしの感情がどうであれ、変わることにない神様の愛にわたし自身が信頼することを学ばなければならぬことを、示されたのである。」

説教の変化

ブレングルの聖潔の経験が彼の生活に与えた影響の中で最も大きいものは、彼の説教に対するものであった。後年、彼はこう語っている。

「聖潔を経験したとき、真理に対する知識と、それをより深く知りたいという願いは強くなった。」

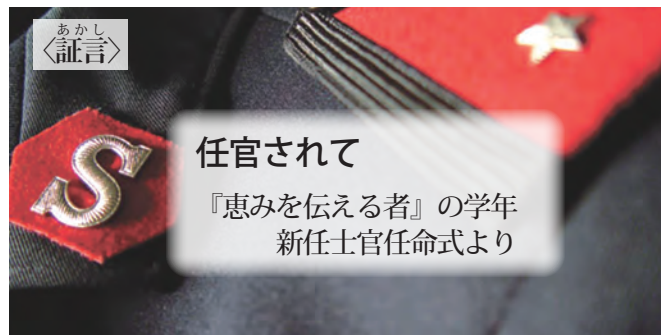
彼は、自分の説教のうまさをはめられることよりも、キリストに栄光を帰することを求めるようになった。説教者という「職業」を放棄し、改めて、それを、召命として受け入れることとなった。人は、彼の説教を評して、こう言った。「以前は、雄弁な説教であったが、今は、聞いた人をして、神の呼びかけに応えるように招く説教となった。」

救世軍との出会い

さて、ブレングルの救世軍との出会いに目を向けてみよう。ダニエル・ステイル、ウィリアム・マクドナルドが、カサリン・ブースの書籍をアメリカに紹介し、その影響が、ブレングルを救世軍へと導くきっかけとなった。

一八八四年九月、ボストンに救世軍が開戦し、ブレングルは、二人の学友によって、救世軍を知ることになった。その二人、ブリッグスとスウォルツは、最初は単なる興味から救世軍の集會に出席した。しかしある聖別會に出席したとき、恵の座に導かれ祈った。寮に帰った二人は、ブレングルに救世軍のことを話した。

（続く）



任官されて

『恵みを伝える者』の学年
新任士官任命式より

中尉 眞鍋嗣道

二年間の訓練を無事に終えることができ、神様に感謝しています。また、入校するにあたり、お世話になった方々、訓練を通してお世話になった方々、祈りを通して支えてくださった方々にも感謝いたします。

この二年間で多くのことを得ましたが、何よりも、天地万物を造られ、全知全能である神様が、この私を選び、献身の道を歩ませ、共にいてくださったという大切なことを知ることができました。

以前の私は、プライドの

塊^{かたまり}でした。そのため、「熱くも冷たくもなく、なまぬるいので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている」という聖書箇所を聞いても他人^{ひとごと}事でした。

しかし、訓練を通して見た自分の姿は信仰のなまぬるい姿ばかりでした。「イエス様がゲツセマネで祈られたように、汗が血の滴^{したた}りのように地面に落ちるほど本気で祈ったことがあるのか」「イエス様が十字架の道を従順に歩まれたように神様に不平を言わず従順に従ったことがあるのか」、

「イエス様がすべてを献^{ささ}げて、人々を愛されたように、人を愛したことがあるのか」。これらの問いに対して私は何も答えられませんでした。私は本当に自分自身が見えていなかったということにハッと気づかされました。

同時に、士官として歩んでいくことは私にはできない、という思いと恐れに支配されました。正直、今でも自分の力では無理だと思っています。

しかし、神様は「わたしはあなたを母の胎内に造る前から あなたを知っていた。母の胎から生まれる前に わたしはあなたを聖別

し 諸国民の預言者として立てた」(エレミヤ1・5)の御言葉^{みことば}から、「あなたがそのような者であることも知っていたし、これから犯す失敗もすべて知っている。すべてを知っていて、わたしはあなたを選び出した。」「恐れるな。わたしがあなたと共にいて、必ず救い出す」と再召命を与えてくださいました。

今までの歩み、これからの歩み、すべてに神様が共にいてくださり、恵みを与えてくださるので、信仰の生涯を歩めるのです。これから神様を見上げ、豊かな恵みを受けつつ、歩み続けていきます。ぜひお祈りいただければ幸いです。

(仙台小隊 小隊士官)

中尉 眞鍋 恵

こうして二年間の学びを終え、ここに立たせていただけていることを感謝いたします。きょう、改めてこの召命は神様から与えられたものである、ということを確認しています。

二年前の候補生歓迎集会の証言^{あかし}の中で、「自分が人の魂を扱う働きなんて到底できない、力不足だと感じ

〔張田望中將 召天前の証言^{あかし}を紹介します〕

御名を賛美

私は、救世軍士官の家庭で育ちました。青年期の頃までは、友人達と互いに励まし合う、恵みに満ちた幸いな時を過ごしました。

しかし、そのようなときに突然、救世軍士官となるようにとの小さなささやきが聴こえ始めました。そのささやきは私の内に次第に大きく響くようになりました。ついに私は神が私を救世軍士官として召しておられると確信しました。

士官学校での訓練は、私にとって新たな霊的恵みを頂く機会となりました。

やがて、私は救世軍士官に任官し、任地で奉仕を続けました。その間、結婚し、家族が与えられ、任地では、多くの戦友方との霊的お交わりをいただきました。

外見では、恵まれた者のように映ったかも知れませんが、私は常に、罪人の一人であり、主の十字架の救いを必要とし、聖霊による聖潔に頼ることが、必要でした。人間的にも欠けた者でした。多くの人にご迷惑をおかけしました。到らなかったことをお許しください。

このような者を主が救い、お導きくださったことは、神の恩寵以外にありません。それゆえ、私は大いなる神の御名を賛美し続けます。

「ハレルヤ。 主の僕らよ、主を賛美せよ

主の御名を賛美せよ。』(詩編113編1節)

2021年2月4日 張田 望

ていた」とお話ししました。その思いは今でも変わりません。何か優れているものをもっているわけでもなく、弱さもたくさんあり、不信仰にも陥ります。しかし、この二年間ずっと神様が共にいて、ひとつひとつ教えてくださったことは、「わたしがあるあなたを選んだのだ」ということです。この召命は神様の恵みによる選びであるということ。そして、選んでくださった神様が、これから私を通して、その御業^{みわざ}を現そうとしているのだということを信じていることができました。自分が

どんなに士官としてふさわしくない土の器^{うつわ}だと思っていたとしても、そこに神様が働くなら恵みが溢れ流れ、人は私を通して神様の御業を見ることができるようだ、ということをお教えられるのだ。それは恐れではなく、とても光栄なことであり、感謝と喜びでしかないという思いに変えられました。

私自身、この二年間の訓練と学びにおいて、絶対に自分の力ではできなかったことができた、という体験を何度もさせていただきました。その度に神様の偉大な力を感じ、今までは自分の中に収まる存在であった神様から、自分を超える偉大な神様へと変えられました。すべてを成し遂げてくださった方にこれからの生涯の主権を明け渡し、士官生活をスタートできることを感謝します。

「神は、その独り子^{ひとりご}をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」(ヨハネ3・16) 神様が託^{たく}してくださった御言葉^{みことば}を携えて、使命に生きられることを心から嬉しく思います。

(仙台小隊 小隊士官)

集会 報告

『恵みを伝える者』の学年 士官任官式及び新任士官任命式

2021年3月21日(日) 午後3時 山室軍平記念ホール ライブ配信

コロナ禍にあって、会場の山室軍平記念ホールの出席者は限定されましたが、集会は、オンラインで全国に生配信されました。司会の書記長官西村保大佐補の開会の挨拶で始まり、『恵みを伝える者』の学年旗と共に、眞鍋嗣道候補生と眞鍋恵候補生が入場。司令官ケネス・メイナー大佐が起立して迎えました。士官学校長ゲイル・ホワイト少佐が学年報告をした後、候補生と士官学校教官が、学年の歌「おどろくばかりの」を合唱しました。教理の確認に続き、司令官と軍国女性部会長シェリル・メイナー大佐が、信仰宣言を導き、眞鍋嗣道候補生と眞鍋恵候補生は、救世軍士官として任官され、中尉に任じられました。任官後、新任士官眞鍋中尉夫妻は、献身の思いを込めて「われをきよめて」を歌いました。

続いて、新任士官の両親に贈られる銀星章の授与の時もたれ、眞鍋嗣道中尉の両親、眞鍋精一少佐、和枝少佐と、両親の樋口和光少佐、愛子少佐に代わり、眞鍋恵中尉の兄の樋口潔中尉に、司令官より銀星章が授与され、喜びを分かち合いました。

また、この集会中、吉田司少佐、吉田恭子少佐の引退式が執りおこなわれ、家族の同席のもと、約40年にわたる士官としての奉仕を神様に感謝する時をもちました。

感染対策による換気タイムの後、新しい中尉の制服を着た新任士官が、リモートによるバンド演奏「主のみ救いかぎりなし」の中、入場し、集会は再開。『恵みを伝える者』の学年旗手眞鍋嗣道中尉より学年旗が司令官に返還されました。この学年旗は士官学校講堂に掲げられている歴代の学年旗に加わることになります。新任中尉による真実な証言(5頁に掲載)の後、いよいよ任命の時。司令官は、眞鍋嗣道中尉、恵中尉に、仙台小隊小隊士官の任命を与えられました。

与えられた任命を胸に、新任中尉は2年間の訓練の歩みを動画で紹介した後、「わが身ののぞみは」の賛美を導き、主の恵みへの応答を呼びかけました。

司令官はヘブライ人への手紙4章14～16節から「驚くばかりの恵み」と題して、オンラインで視聴する人々にも熱い励ましのメッセージを語り、集会は恵みのうちに締めくくられました。この集会は、ケネス・メイナー大佐、シェリル・メイナー大佐にとって、日本での約5年間の奉仕の最後の集会となり、翌日には新しい任命に向けて日本を旅立つという特別な時となりました。



- ①書記長官西村保大佐補
- ②士官学校長ゲイル・ホワイト少佐
- ③司令官ケネス・メイナー大佐と軍国女性部会長シェリル・メイナー大佐
- ④救世軍士官として任官される
- ⑤証しをする眞鍋恵中尉
- ⑥司令官より任命を受ける新任中尉
- ⑦士官学校教官と共に学年の歌を合唱
- ⑧証しをする眞鍋嗣道中尉
- ⑨銀星章を授与された眞鍋精一少佐、和枝少佐と、両親に代わって樋口潔中尉

写真位置

- ① ② ③ ④
- ⑤ ⑥ ⑦
- ⑧ ⑨

集会 報告

『聖潔を映し出す者』の学年 士官候補生歓迎集会

2021年4月4日(日) 午後5時 士官学校講堂 ライブ配信

(オンライン) イースター・コンサート 4月11日(日) 午後7時 杉並小隊

西日本連隊指導者就任式 2月21日(日) 午前10時30分 大阪セントラルホール

● 士官候補生歓迎集会

士官学校長ゲイル・ホワイト少佐の司会により、士官学校からライブ配信で開催されました。新しい軍国リーダーの司令官スティーブン・モーリス大佐と軍国女性部会長ウェンディ・モーリス大佐の会場での出席は、新型コロナウイルスによる入国の遅れのためにかないませんでしたが、書記長官西村保大佐補が司令官に代わって挨拶をし、『聖潔を映し出す者』の学年旗を吉田慎也候補生に授与しました。軍国女性部書記西村和江少佐が、2年間の吉田候補生の訓練と学びのために祈りました。続いて吉田候補生は、献身に至った不思議な主の導きの証言を感謝の思いをもって語りました。そして、出身の天満小隊から、吉田候補生への愛が溢れるビデオメッセージが流されました。続いて士官学校の教官・候補生が「いつくしみ深き」を合唱しました。

スティーブン・モーリス大佐とウェンディ・モーリス大佐は、録画により挨拶とメッセージを語りました。イエス様が私たちの罪のために死なれ、私たち一人ひとり

に特別な計画をもって導かれている、と。集会の最後は、会衆やオンライン視聴者に向けて、吉田候補生のため、これからの2年間、引き続き祈り、励まし、支えてください、との言葉で締めくくられました。



(写真左上より)

・書記長官より学年旗授与
・証しする吉田慎也候補生
・士官学校の合唱

● (オンライン) イースター・コンサート

杉並小隊を会場に開催され、YouTube で生配信されました。ジャパン・スタッフ・バンド(JSB) のオープニング動画演奏に続き、司令官モーリス大佐夫妻が動画で挨拶を語りました。

再び JSB の動画演奏に続いて、堀井ローレンさん(シンガーソングライター)が登場。証しを交えながら美しい歌唱力で4曲を歌いました。会場の換気のための休憩時間を挟んで登場した小坂忠さん(ゴスペルシンガー、日本フォースクエア福音教団秋津福音教会牧師)は、昨年コロナ禍にある諸教会を賛美をもって励ますために結成されたMワークショップと共に4曲を歌いました。そして最後の曲「勝利者」を、イエス・キリストの勝利にあずかる

ことによって、一緒にコロナ禍に打ち勝ちましょう、というメッセージを込めて熱唱しました。アンコールでは小坂忠さんと堀井ローレンさんがデュエットし、イースターの喜びにふさわしい特別なコンサートとなりました。

(会場会衆30人、ライブ配信視聴回数2315回 4月15日現在)



(写真左より) 堀井ローレンさん、小坂忠さん

● 西日本連隊指導者就任式

西日本連隊聖別会の席上、司令官ケネス・メイナード大佐及び軍国女性部会長シェリル・メイナード大佐指揮により、西日本連隊長鈴木智博大尉、西日本連隊女性部書記鈴木眞理子大尉の連隊指導者就任式がおこなわれました。

コロナ禍の影響で就任式が延期となっていたのですが、今回、感染症対策を万全にし、連隊で初めてライブ配信(YouTube、Facebook にて限定配信)をし、連隊内の小隊でも、視聴することができるようにしました。

聖別会は、西日本連隊本部付・泉尾小隊長三澤直規少佐の司会で進められました。成人のお祝いの時をもち、新成人の石田怜子兵士(泉尾)が証言をし、シェリル大佐が新成人のために祈りました。続いて、西日本連隊指

導者就任式が司令官夫妻の導きで執りおこなわれ、鈴木智博大尉、眞理子大尉がそれぞれ挨拶をしました。

司令官は「ただ聖霊のみ」(使徒2・1~4)と題してメッセージを語り、祈祷会では恵の座が祝され、出席者の多くが祈りを献げました。

集会後は戦友方から「かみともにいまして」(『救世軍歌集』394)の賛美があり、期せずして、司令官及び軍国女性部会長の送別の時ともなりました。(会衆46人、ライブ配信視聴回数123回・連隊報)



NEWS!!
NEWS!!

各地のニュース!!

ニューホープ
麻布 New Hope

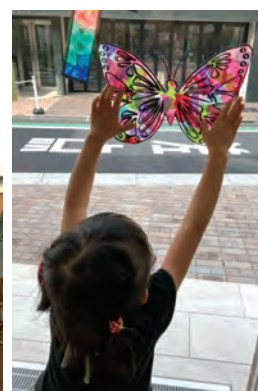
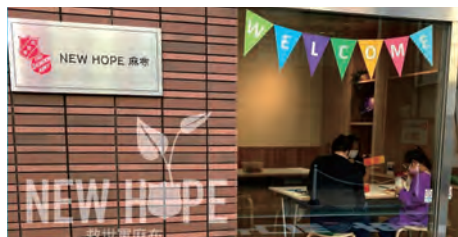
「救世軍麻布 New Hope」のプログラムは2月から次々と始まっています。「ペイントナイト」は、少人数でソーシャルディスタンスを保ちながらおこなわれています。絵具、筆、キャンバス、パレットなどはすべて用意されています。リエン・ラボシエール軍国特務曹長が英語で説明しながら、スタッフの高島咲良さんがお手本で絵を描いていき、石川真さんや山谷愛加さんが通訳をします。高島聖吾さんは参加者のサポートのために動き回ります。参加者はそれぞれのペースで絵を描き、とても自由な雰囲気です。2月はバレンタインデーをテーマに、参加者はペアを組み2つのキャンバスで1つの絵となるように描きました。3月は近所から外国籍の方が参加しました。クラスの最後には毎回、聖書からショートメッセージを語り、祈りを献げます。4月は透明な花瓶に生けられた紫陽花を描き、紫陽花を支えている花瓶のように、イエス・キリストにしっかりと支えられて生き



ることで、わたしたちは美しく花を開かせることができる、というメッセージが語られました。

「キッズ・ペイントナイト」は、午後の早い時間に子どもと保護者を迎える絵画クラスです。3月、恐竜の絵を完成した一人の子は満足そうに「気に入った! 次も絶対来る!」と言いました。その他、工作を中心とした「キッズアート」や、子どもと大人の英語教室、日本語教室、カフェチャーチ(女性部主催)をおこなっています。

クラスの開催中、通りがかりの多くの人がこの場所に興味をもっている様子が見られます。見学のため中に入って写真を撮る人もあります。「麻布 New Hope」での伝道のために、神様が扉を開いてくださり、これからもたくさんの人々が入って来ることを期待しています。アートを通じた活動は、地域の人々との関係を築き、隣人を愛するための一つの方法です。救世軍が麻布のコミュニティに大きなインパクトを与えることができるように、スタッフは祈っています。(伝道事業部報)



清瀬小隊

● 兵士入隊式

3月7日の聖別会は書記長官西村保大佐補、和江少佐夫妻を迎えました。席上、石牟禮昭仁准兵士の兵士入隊式をおこないました。清瀬小隊にとって、大きな喜びでした。コロナ禍の一年でしたが、主が備えてくださいました。



石牟禮昭仁さんの兵士入隊式

● 吉田司少佐、
恭子少佐 引退式

3月21日の士官任官式の席上、おこなわれました。司令官ケネス・メイナー大佐から、長年の士官としての奉仕に対する感謝の言葉と、引退証書が授与されました。



吉田少佐夫妻に引退証書授与



家族と共に

広島小隊

● 同友者宣言

2月14日(日)、西日本連隊長鈴木智博大尉、連隊女性部書記鈴木真理子大尉を迎えて聖別会をおこないました。連隊長夫妻は昨年3月に着任しましたが、コロナの影響で長く来広ができませんでした。

この日は吉田慎也準候補生(あかし)が同行。準候補生は、救世軍との出会い、召命について証言をしました。また、席上、広島小隊にとって希望と力となっている今野雅哉さんに、同友者証が連隊長より授与されました。

連隊長はヨハネの手紙一1章5～9節より、「わたしたちを覆う影」と題して説教しました。サウルハープ演奏での賛美もあり、祝福の聖日となりました。

同友者となった
今野雅哉さん(右)

月島小隊

● 鈴木雅子少佐引退式

2月23日(火・祝)、月島小隊にておこなわれ、小隊の戦友はじめ同期生、当時の士官学校教官など関係者が集いました。引退式の司式者は静清小隊長熊田光子少佐でした。

鈴木雅子少佐は、ルカによる福音書15章1～7節より「このいと小さき」と題し、「何もできない自分は方法論ではなく、実践あるのみで来た。自分がここに在るのは、祈って支えてくださった方々のお陰であり、大勢の人の手によって助けられてきた。今日ここに在ることをただただ神に感謝する」と語りました。

45年間にわたる戦場部、医療部、社会福祉部での真実なご奉仕に感謝し、主の聖名をあがめる時となりました。(会衆29人・連隊報)



天満小隊

● 吉田準候補生送別 3月28日(日)、吉田慎也準候補生送別の聖日となりました。聖別会では吉田準候補生が、神様が祈りに応え、不思議な御業をなしてくださったことを証言しました。聖別会後の送別の時には、吉田準候補生が天満小隊に導かれ、神の家族として共に礼拝できたこと、お交わりできたこと、神様の御業を見させていただいたことを一同で主に感謝し、主を賛美しました。

とても和やかな愛に満ちた時でした。また、この日は、短い時間でしたが、玄関ホールでバンドメンバーが賛美を献げました。コロナ禍のため、ラッパに感染防止のフィルムタイプのマスクをかぶせ、演奏しました。雨の中、足を止めて賛美に耳を傾ける方もおられました。



3月30日、士官学校入校へ出発した吉田準候補生



岐阜分隊

● 分隊最後の聖別会

3月7日(日)、岐阜分隊の救世軍会館で最後の聖別会がおこなわれました。集会の様子はフェイスブックでライブ配信されました。

名古屋小隊長齋藤丈夫大尉が司会をし、楽隊の活動が盛んだった時代を偲び、バンドの奏楽で開会。証言は、岐阜で幼年期を過ごした書記長官西村保大佐補からの手紙が読まれました。バンドが『救世軍歌集』100番「主のみ救い」を演奏しました。

東京東海道連隊長石川和男少佐が「苦難をも誇りとします」とのタイトルでメッセージを語り、『救世軍歌集』278番「いかに悩み苦しきあれど」の奏楽の中、軍旗が降納されました。最後に、田中千枝子少佐(連隊付)が祈祷して、閉会しました。

聖別会の後、出席者は、片付けられた会館や事務所等を見ながら、昔を偲びつつ、しばらく歓談の時を過ごしました。



岐阜分隊会館



出席した人々



バンドの奏楽

長年使われた軍旗や太鼓などの楽器が、高壇に置かれた

1917年に開戦し、1955年に戦後再開戦した岐阜小隊の歴史は、2021年3月31日をもって、幕が閉じられました。(聖別会参加者13人、フェイスブック動画配信再生数67回)



最後の聖別会の様子



社会鍋による支援

● 大森小隊

2月より、社会鍋の資金より、3箇所の子ども食堂に、お米を毎月1回提供しています。1年間続ける予定です。小隊にお礼状が届いています。それによると、コロナ禍にあって、子ども食堂だけでなく、地域の困難な状況にある方にもお米を分けている、とのことでした。活動の様子の写真も送られてきました。

● 福山小隊

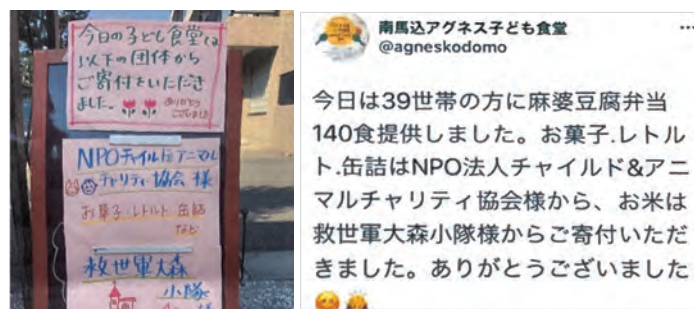
3月13日(土)、3回目の生産者支援特別販売をおこないました。米農家(佐藤商店)より米5キロ70袋と、尾道ラーメン(壺番館)5食入り70袋を、社会鍋資金より買い取り支援し、これを1セットにして千円で地域の方々に販売しました。3回目ということもあり、タウン誌掲載と口コミで広がり、完売しました。地域の方々には大変喜ばれ、「とても助かってます。安くて申し訳ないくらいですが、ぜひ次回お願いします。」「ここは教会ですか? 礼拝に来てみたいのですが」等の会話もありました。社会鍋の協力をお願いしながら、『はあもに』を添えて手作りマスクを配布し、1日も早いコロナの終息を祈りつつ、この時を過ごしました。(支援先2件、受益者70件、奉仕者5人)

● 岡山小隊

2月23日(火・祝)、在庫を抱え困っている生産者から買い取り、地域の方々へ安価で提供する、サイクル支援をおこないました。今回のセットは、米のほか、瀬戸内レモンと八朔のジャム(岡山一果)、食パン1斤(障がい者就労支援施設)で、1セット千円にて提供しました。当日の販売は事前申し込みで、社会鍋を出して協力を求める中、募金だけしてくださる人や、「どうしてこんなに安く提供できるのですか」と聞いてくださる方もあり、「社会鍋の資金を使って」と社会鍋募金の説明をする機会も与えられました。岡山では4回目で、口コミで広がりを感じています。(支援先3件、受益者70件、奉仕者7人)

● 八幡小隊

昨年の暮れは、コロナ禍の中、街頭での社会鍋はすることができませんでした。しかし、小隊の関係者にも社会鍋のアピールを広くしたことで、昨年とほぼ同じ献金額が与えられ、支援も例年並みに実施できました。特に、北九州市内の母子寮支援では、今年は幼児を連れた若い母親も多く、コロナ禍にあって、外出や買い物にも不自由を感じているとのことで、お米をはじめ食料品の支援は喜ばれました。また、「フードバンク北九州ライフアゲイン」が運営する、子ども食堂の働きは、一人ひとりを大切にする学習プログラムへの働きへ移行するという一方で、その準備のためにも支援しました。



- ・大森小隊に送られてきた礼状(子ども食堂の活動の様子)(写真上)
- ・福山小隊で 奉仕者たち(写真中)
- ・岡山小隊で 販売した、米5kg、瀬戸内レモンと八朔のジャム、食パン1斤(写真下)



災害対策室リポート

佐野保育園

■災害時給食練習

2月10日(水)、
「サントス給食サービス」の尾林奈緒美

社長と厨房スタッフが中心となって、災害時に備え、園舎を使用できなくなった時を想定し、野外で給食作りの練習をしました。プロパンガスとコンロをレンタルして、園に常備している緊急用の食材を利用し、園児約120人と職員約30人の昼食を作りました。メニューは、アルファ米ご飯とふりかけ、シーチキン、野菜の味噌汁でした。とてもおいしくて、子どもたちはいつものように完食しました。

(災害対策室関東東北連隊東北地区報)



YP (青少年部)・ファミリーニュース

●軍国ユースセミナー 3月12日(金)、13日(土) オンライン

テーマ「WTS!!! What the salvation 何という救いだあ!!!」(ヨハネ3:16)

特別講師に大嶋重徳師(鳩ヶ谷福音自由教会主任牧師、元KGK〈キリスト者学生会〉総主事)を迎えました。

12日(金)午後6時半～8時 開会集会(救世軍公式YouTube生配信、閉会集会も同様)。司会は青少年部長朝澤義人大尉、賛美チームが賛美を導きました。大嶋師がメッセージを取り次ぎ、約1時間、創世記から黙示録まで聖書全体を通して、神様が御自分の独り子イエス・キリストを通して私たちに救いをもたらしてくださったことを、ユーモアを交えながら語りました。(視聴51人)

午後8時半～10時 セッション①「クリスチャンのホ・ン・ネ」(zoom・申込制セッション②③も同様)をおこないました。全国からの参加者が、開会集会で聞いたメッセージの感想を分かち合い、最後に大嶋師への質問タイムをもち、大嶋師は丁寧に質問に答えてくださいました。(25人)

13日(土)午前10時～11時30分 セッション②「ママのホ・ン・ネ」。最初は大嶋師が信仰継承の難しさ、すばらしさ等について講演した後、質問タイムをもちました。子育て中のママさんたちの本音に、大嶋師は丁寧に応答してくださり、少人数でしたが、予定した時間を超えるほどの充実した時となりました。(7人)

午後1時～2時30分 セッション③「with 救い」。このセッションでは、「①ここが嫌いだ、救世軍」、「②ここが好きだ、救世軍」、「③もっとこうしたら良い、救世軍」

と3つの題を挙げ、今、自分たちが属している救世軍の良い部分、悪い部分を分かち合うことで、ここから成長していこう、という流れで進められました。辛い意見

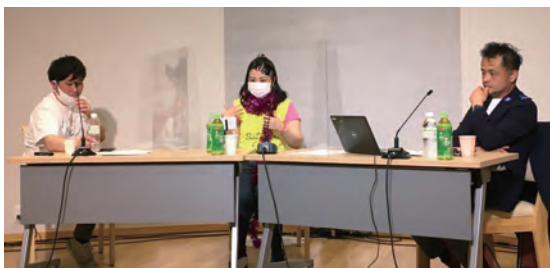
(下記参照)が多かったかと思いますが、それは今の青年が救世軍を真剣に思い、真剣に祈り、真剣にどのように建て上げていくかを考えての発言でもありました。それだけ青年は、真剣に救世軍を愛しているのです。多くの青年が涙ながらに分かち合っていました。大嶋先生は、「ここまで本音が出るのは滅多にない。それほど、皆さんが真剣に自分の小隊を愛していこうという思いがあるのが伝わった。この世代で、絶対に誰もこぼさない。そのために、このような分かち合いを続けていくことが必要」とコメントをくださいました。(21人)

午後3時からの閉会集会では、大嶋師がローマ12・1～2からメッセージ。「神様が私たちを召したこの事実は、絶対否定できない。こんな罪深い私たちを救い、救ったイエス様を侮ってはいけません」と語り、召しの招きがなされました。最後に救世軍の各小隊のための祈りが献げられ、閉会しました。(視聴36人)

2日間、オンラインを通し、祝福された時をもちました。(青少年部報)



開会集会で



zoomセッションのひとこま



盛り上がった賛美

「ここが嫌いだ、救世軍」

(Zoomセッション③より、意見抜粋)

「ルールが多すぎる」「若い人が、チャレンジができない。失敗が許されない雰囲気が強い」「士官子女はとにかく我慢しなくてはならない。(引越し、金銭的な面)」「世代のくぐられ方が雑。特に若いからというだけで、使われやすい。それによってつまづく。使われるのが嫌ではない、使い方・伝え方が重要」

「ここが好きだ、救世軍」

「世界各地で働きを進めている」
「他の教会にはない音楽(プラスバンド)がある」
「機動力がある」「圧倒的なホーム感」

「もっとこうしたら良い、救世軍」

「内輪感を脱したら良い」「外の教会と交わっていく(視野を広く)」「変化にもっと対応していく」
「今この時にこそ、聖書の学び、分かち合いをもっと！」



●レボリューション・ジャパン (REV-J)

昨年はコロナ禍のため、残念ながらプログラム開始に至りませんでした。今年は、会場となる福山小隊も感染予防対策を講じた内装及び外装の工事が完了し、6月からのスタートを期して準備を進めています。

また、REV-Jでの訓練の基本となる『レボリューション・ジャパン ハンドブック』が完成し、案内用パンフレットも各小隊に届けられています。青少年がこのプログラムに導かれ、新しい弟子が訓練されていくことができるようお祈りください。

『救世軍教理ハンドブック』発行に伴う、用語検討について

少佐 寺澤眞由子

『救世軍教理ハンドブック』の発行は、長く待たれていましたが、数年前から、日本語の「救世軍教理」の訳の見直しの声がありました。そこで、軍国運営会議の承認を得て、「教理用語検討委員会」が編成され、メールでの意見収集という形で検討がなされましたので、検討及び決定事項を共有させていただきます。

I 第1条の「われらは、旧新約聖書が神の感動によりて」における、Inspirationの訳出について

①検討の背景

日本語における「感動」の意味が、教理と一般的なものとで異なっている。一般的には、「何かに強く心を動かされる」という受動的な意味が強い。したがって、「神が何かに感動している」ように読み取れてしまう。本来、「聖霊によって神的感化（啓示）を受け、動かされた人々によって聖書が書かれた」という意味合いであると考えられる。

②救世軍の教理における「感動」の考察

a. 歴史的背景

「感動」は、テモテへの手紙二 3章16節の文語訳聖書、「聖書はみな神の感動によるものとして」との訳出に準拠していると思われる。

b. 「Inspiration」の語義及び翻訳状況

ギリシャ語では、「神が息を吹きかけられた」という意味をもつ。この部分を、口語訳は「神の靈感を受けて書かれたもの」、新共同訳は「神の霊の導きの下に書かれ」、聖書協会共同訳は「神の靈感を受けて書かれたもの」、新改訳は「神の靈感によるもの」と訳出している。『教理ハンドブック』（2010年）においても、上記の聖書の訳をもとに「靈感によって与えられた」と訳し、その「靈感」が、単なるインスピレーションとは異なることについて説明している

c. 訳語変更の可能性について

一般的に、また教会でも「靈感」としたほうが意味は伝わりやすいかもしれないが、機械的に教理本文を「神の靈感によりて」と変更することには無理がある。逐語（機械的）靈感説ととられる可能性も否めない。

最初の翻訳で用いられたものを、救世軍教理の特徴として、尊重していきたい。

③結論

現時点において、「感動」を「靈感」とは訳出しない。しかし、当委員会の検討内容や本来の意味についての考察をできるだけ共有することとする。

II 第6条の、「全世界のために償罪をしたもうたゆみに」の訳出について

①検討の背景

「償罪」に対応する atonement が、現在、聖書では、「贖い・贖罪」と訳されている。他教会でも多くは「贖罪」と訳されていることから、「贖罪」と訳すほうが適

切ではないか考察すべきとの声があった。

②救世軍の教理における「償罪・atonement」の考察

a. 歴史的背景

日本における「made an atonement」の訳語に、「贖い給い」と贖の字が用いられた（明治28年『聞聲』11月号）記録はあるが、それ以後は、「atonement」に「償罪」（つぐない、その後、しょうざいの読みが加えられている）の漢字を用いている。また多くの場合、「贖罪」にあたる英語を「redemption」として、訳し分けていた。

b. 「atonement」の語義及び翻訳状況

「atonement」についての解説

『教理便覧』には『「償罪（atonement）」という言葉が用いられている。しかし厳密に言って、償罪はこの真理の一面をあらわしているに過ぎない。その正確な意味は、救い主としてのキリストのみ業によって、無縁になった罪人が神と一つになる（at one）ことを言うのである』とある。『教理ハンドブック』（2010年）127頁（英文同じ）には、「ただ一度のすべての人のためのイエスの死と復活とは、人が愛の神と和解する道を、最終的に開いたのです。この和解を償罪（the Atonement）と呼びますが、字義的には、一つとなる（at ~ one ~ ment）という意味をもっています」とある。聖書で、名詞の「atonement」は、旧約において「贖い」（新共同訳）、新約においては、ローマの信徒への手紙5章11節（欽定訳）の訳として、「和解」が用いられている。対して、「redemption」は、「贖い」「買戻し」としている。

c. 訳語変更の可能性について

訳語を、「贖罪」とした場合、「redemption」に対する訳語との混乱が生じるのではないか。救世軍において、あえて「償罪」の漢字を最初の翻訳で用いたことを救世軍教理の特徴として、尊重していきたい。

③結論

現時点において、引き続き「atonement」を「償罪」として用いる。しかし、当委員会の検討内容や本来の意味についての考察をできるだけ共有することとする。

このような考察を経て、教理の文言の変更はしないことが軍国運営会議でも承認された。

新しい『救世軍教理ハンドブック』を、士官のみならず全救世軍人が学ぶことをお勧めいたします。また、可能であれば、救世軍の施設や病院で働いておられる方々やボランティアの方々とも、救世軍が大切にしている教理の理解を深めていただき、少しでも価値観を共有できることを願うものです。そうするならば、救世軍が教理を通して大切にしている明確な「幻」を多くの方と分かち合い、実現するために共に歩むことができるのではないのでしょうか。

この『救世軍教理ハンドブック』を通して、生けるイエス・キリストとの対話を深めることができますように。そして、お一人おひとりが、この世界において、真実なるイエス・キリストを現す者として「救世軍」の使命に生きる者と変えられていく力を得ることができますよう、お祈りいたします。（前文書部長・編集部長）

〈連載・第10回〉

神の呼びかけ ～神の民となるために～

(4) 恵の座への呼びかけ

(承前) フィル・ニーダムは続けます。

「恵の座は、神を求める人が祈ることができる場所を象徴するものです。真の恵の座は心の中にあり、形としてひざまずく場所が祈りのベンチであっても、他のどのような場所であっても、もしその人の魂がひざまずいていないのなら、何の意味もありません。」

「神がわたしたちに語ろうとし、わたしたちが応答しようとし心を開く場所こそが恵の座ですから、どのような場所でも恵の座になり得るのです。ですから、小隊の会館に設置されている恵の座はあくまでも、そのような祈りの場がわたしたちに提供されているということの象徴なのです。」

これは、救世軍初期の聖潔の教師であったサムエル・ローガン・ブレングルも賛同することです。「わたしは半世紀以上、悔い改めのベンチを心の内に持ち運んでいる。何か必要がある度に、すぐそこに飛んでいくのだ」と言っています。

そして恵の座に当てはまらないことを強調しておくことは大切でしょう。恵の座は、人々が神に出会うことができる唯一の場所ではありません。罪人が救いと赦しを見いだせる唯一の場所でもありません。それ自体に特別な霊的な力が宿っているのではなく、そこで起きる出来事に永続的な意義をもたせる神聖な物体というのではありません。救世軍の兵士となるために踏むべき課程の中で、恵の座を必ず用いなければならないということもありません。

このことは、『軍令及び軍律—小隊士官の巻』に明確にされています。

「新しい兵士は、次の人々の中から見いだすことができる。

- a) 救世軍の悔い改めのベンチのもとにいる求道者たち
- b) 若い人々に向けた働きを通して回心し、兵士となるべく備えられている人々
- c) すでに回心し、まったく聖潔といった霊的な祝福を受け、救世軍を通して仕えるよう神の召しを示されている人々」

救世軍で恵の座を用いることは、そのミッション（使命）と礼拝になくてはならないものとして自然発生したものです。救世軍人は時に、恵の座を用いる根拠となる聖礼典は何なのかと問う誘惑にかられたり、あるいは、そのような問いを受けることがあるかもしれませんが、他教会にこれと同意義のものを見いだそうとすべきではありません。救世軍がメソジストの感化を受けているこ

とは認識されていますが、創立者は救世軍における信仰の実践を、他教会が構築した信仰慣例に基づくものとはしませんでした。

成人洗礼（キリストに従うことの表明）と聖餐式（恵みの享受）は、恵の座で経験しうることを反映するものですが、恵の座は他の礼拝方法に取って代わるものではありません。

救世軍人にとって、恵の座は、神がご自分との交わりに人々を招き続けておられることを示してくれるものです。それは思い起こさせてくれるものであり、機会であり、そして特権なのです。

アルバート・オスボーン大將も確信していました。「未来の救世軍の希望は若者たちにある、と言う人々がいる。わたしはそれには同意しない。救世軍の希望は悔い改めのベンチにある。この場所が用いられなくなった時に、わたしたちの未来もない。恵の座に神の指が触れてくださることこそ、救世軍の上に置かれる神の好意という栄えの冠である。救世軍人が第一に目指すべきは、罪人を恵の座に導くことである。おこなわれるすべての集会、計画されるすべてのプログラム、人とのすべての接触は、この魂の救いという目標のためであることを忘れてはならない。」

恵の座は罪人が救いを見いだすために用いられるべきであるという、オスボーン大將の熱意と確信は、今もこのムーブメントの中心にあるものです。毎週、世界中で何千人という人々が、神の声にこたえて恵の座にひざまずいています。中には、初めて神に向き直る人もいれば、再度立ち帰ろうという人もいます。導きを求めて来る人もいれば、特別な決断をするために自らの献身を確かにする人もいます。友のために献げられる祈りがあり、霊的な希望を主と分かち合う時、祝福を求めてただ神との交わりにあずかりたいという時もあります。これらのことを通して、キリストがわたしたちと共におられることを確信させてくださり、主が備えておられる霊的な糧にあずからせてください、という願いをわたしたちは表すことができるのです。(続く)

新刊案内!

『いのちのことは』

有名な聖句を学ぶ

志村善也著

2021年3月1日好評発売!

定価 660円 A5判 140頁



『家庭団コーナー・プログラム』で連載された、志村善也少佐による聖書の学びが、1冊の本にまとめられました。誰もが愛唱してきた聖句や、よく知られている聖句、さらに読者がリクエストした聖句など、豊かに聖書の言葉を味わうことのできる内容です。新来者へのプレゼント、聖書研究会の教材としてもご活用ください。

救世軍見解表明

社会道德に対する救世軍の立場 第5回「環境への配慮」(2)

見解表明の背景と状況

(承前) 環境の悪化は、し
かしながら、単なるエネ
ルギー効率や炭素排出量
の問題以上のものです。さらに、人口増加、人口移動、貧困
などの他の要因の影響も受けています。

生息地を失ったことと気候変動により、動植物の両方
の種の絶滅が加速化されています。大気と水の汚染、食
糧生産の減少と重要な土地の砂漠化は、何百万もの人々
の健康、幸福、そして生存を非常に脅かしています。こ
の問題は、あらゆる場所のすべての人々に関係すること
であるはずで、解決策は単純ではなく、長期間にわた
る協調的な努力が必要なのです。

救世軍の立場の土台となるもの

環境問題に対する救世軍の対応は、次の原則に基づい
ています。

- ・神はすべてのものの創造者、統治者、そして保持者で
す。地球は、主に属するものであり、すべてのものが
その中にあります(詩編24編1節、出エジプト記19章5
節)。人間が神のかたちに造られたように(創世記1章
27節)、わたしたちは、地球資源の世話を任されてきた
のです(創世記2章15節)。神は、被造物の世話に対す
る責任をわたしたちが共にし(創世記1章28～31、2章
15節)、この世界を癒すために協働するようわたしたち
を招いておられます(ローマの信徒への手紙8章19～22
節)。
- ・神と被造物の関係は、愛情深い守りと配慮の関係の一
つです。人間は神のかたちで造られたので、人間が
地球を管理することは、神の守りを反映するものです。
被造物である世界は神を賛美し、神の栄光を明らかに
するように造られました(詩編19編2～7節)。被造物
に対する人間のスチュワードシップ(良い管理者として
のありかた)は、その目的を果たさせるものです。
- ・地球の環境破壊の原因の一部は人間の活動の結果によ
るものなので(イザヤ書24章5、6節)、わたしたちには
その癒しのために働く責務があるのです。神が、被造
物を「従わせ」、「支配せよ」と人間に求めた聖書の命
令は、地球の資源の乱用を正当化するものとして理解
されるべきではなく、優れた管理者であるようにとの
求めとして解釈されるべきです(創世記1章28節)。気
候変動と環境破壊が世界の最も貧しい地域に与えてい
る不均衡な影響は、世界共同体としての正義の復権に
よって脆弱な人々を公正に扱うという、さらなる責任
を生み出しています(ミカ書6章8節)。

実際の応答

救世軍は、以下のような行動を支持し、環境破壊への
対応の改善を図ります。

1. 救世軍は、わたしたちの環境への配慮の欠如を認め、
悔い改めを求めます。そして、環境と資源の使用に
責任ある者となるよう、これまでの態度を変化させ
ることを求め、より意識的に、環境と資源への責任
を負うよう努めます。
2. 救世軍は、現在および過去の慣行を振り返り、環境と
資源の使用において責任ある者となるよう、救世軍
人の環境に対する態度を変化させることを奨励しま
す。
3. 包括的なリサイクル、環境に配慮した購買方針、環境
に配慮した廃棄物管理方法、天然資源の破壊的使用
を削減する革新的な方法の開発など、救世軍内にお
ける健全な環境に対する行動規範と目標を制定しま
す。
4. 救世軍は、救世軍人の環境に対する行動改善の目標
に向けて、救世軍人の訓練、教育、意識向上を通し
て環境破壊を鈍化させるよう努めます。
5. 救世軍は、不利なまたは有害な環境状況によって影
響を受ける人々に対して実践的な配慮をし、彼らの
代弁者として行動します。
6. 救世軍は、すべての政府、持続可能な生活様式と環
境保護という共通の目標に向かって取り組んでいる
人々や善良な組織との連携及び協力の機会を模索し
ます。

さらに学びを深めるための参考資料

気候変動に関する政府間パネル(IPCC) <https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ipcc/ar5/index.html>、International Development Policy – Environment IHQ 2014 万国社会正義委員会(2011) https://issuu.com/isjc/docs/caring_for_the_environment/1?e=18664572/15220279、A Call for Climate Justice Series. Retrieved from https://issuu.com/isjc/docs/climate_justice_full.docx、国連環境計画(UNEP) Environment for development. Retrieved from www.unep.org、United Nations Population Fund(2009)、State of World Population 2009, Facing a Changing World: Women, Population and Climate <https://www.unfpa.org/publications/state-world-population-2009>、世界人口白書2001年<https://tokyo.unfpa.org/sites/default/files/pub-pdf/%E4%B8%96%E7%95%8C%E4%BA%BA%E5%8F%A32001.pdf>、世界人口白書2020年<https://tokyo.unfpa.org/ja/publications/%E4%B8%96%E7%95%8C%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E7%99%BD%E6%9B%B82020-0%23h1>

(2014年11月大將によって承認)

(続く)



〈追悼文〉張田望中將を思う

中將 吉田 眞

張田望中將が天に召された。いかにも早く、また突然であった。昨年の12月の最後の聖日を、桐生小隊でご奉仕され、社会鍋のご奉仕もされたのだから、私たちには正に突然のことであった。中將のご奉仕を振り返り、その功績を挙げるとすれば、数え切れないであろう。もちろん、それは中將の望むところではないが。中將は、東京芸術大学でトランペットを専攻し、その賜物を救世軍の中で豊かに用いられた。本営楽隊（現在のジャパン・スタッフ・バンド）の楽長として、13年間バンドを指導された。また、小隊士官として、本営士官として奉仕し、特に書記長官、司令官という重責を14年の長きにわたって担われた。引退後も、正に召天間際まで、「救世軍士官」であった。

私の個人的な中將との交わりは、中將が本営楽隊の楽長の時に楽隊に加えていただいた時にさかのぼる。任命として直接ご指導をいただいたのは、私が財務管理部に任命されてからである。特に感謝したいのは、3年間、張田司令官に、書記長官として仕える特権にあずかったことである。指導者のあるべき姿を、間近で見ることができたのは、実に幸いなことであった。「僕」の姿を取り、誰に対してもへりくだり、その話に耳を傾け心を開く姿勢は、正にキリストの模範を見るようであった。ある士官が「張田中將のためなら命も惜しくはない」と私に語ってくれたことがあるが、人の信頼を得ることが、どんなに指導者に必要であるかを教えていただいた。

何がそのような姿勢を取ることを可能にしたのだろうかと考えるとき、中將が、最後に書き残した一文（5ページに掲載）に、その神髄を見ることができる。それゆえ、「主の僕らよ、主を賛美せよ 主の御名を賛美せよ」（詩編113編1節）と歌うことができたのでしょう。



張田 望中將 天に召さる

張田望中將は、2021年2月11日午前5時42分、療養しておられたご自宅より、ご家族が見守る中、天に召されました。81歳でした。

1965（昭和40）年、渋谷小隊よりオーストラリア軍士官学校『信仰の擁護者』の学年に入校。任官後数カ月、オーストラリアでの任命を受け、1967年6月に帰国。泉尾小隊付、広島小隊長を経て、1969年、長谷川和子中尉と結婚。大尉となり、1971年、本営特別運動及び公共部付。1972年、ICO（士官のための万国士官学校）参加。1976年より本営総務部付、本営特別運動及び公共部長（兼）司令官部付を歴任。その間、1971年～1984年3月まで、本営楽隊楽長を務めました。1984年、関東東北連隊長（兼）高崎小隊長。同年少佐に任ぜられ、翌年、英国にてICO管理者セッションに参加。1991年、25年永年勤続章を受け、同年大佐補に任じられ、本営戦場部長。1992年日本軍国書記長官に任じられました。本営戦場部長、本営人事企画部長との兼任を経て、1998年、大佐に任ぜられ日本軍国司令官となりました。2000年、中將に任ぜられ、2001年、35年永年勤続章、2006年、40年永年勤続章を受けました。

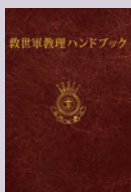
2006年5月31日に引退後も奉仕を継続し、前橋小隊長、2010年より前橋小隊長補佐、2013年より桐生小隊長補佐。2014年より関東東北連隊長補佐（兼）災害対策室東北地区顧問、2018年桐生小隊付（兼）、2019年には（臨時）関東東北連隊長を短期間勤められました。2020年3月26日、それまでの任を解かれましたが、桐生小隊付で継続奉仕。2021年1月31日に完全引退されました。

2011年にはジャパン・スタッフ・バンド（JSB）と共にISB120ツアーに参加。2012年よりJSB副楽長。また、士官の相談室相談員も務められました。

「賛美と感謝の集い」（告別式）が、2月15日（月）、関東東北連隊長藤井健次大佐補の司会、高崎小隊長細貝信義大尉の司式で、メモリアルホールしんまちでおこなわれました。御遺族の上に神様の御慰めと御祝福をお祈りいたします。

『救世軍教理ハンドブック』発行

万国本営から発行された、『救世軍教理ハンドブック』の日本語版です。ぜひお求めください！ ご注文は救世軍出版供給部へ
A5判386頁
定価2,750円（税込）



救世軍公報	
任命	眞鍋嗣道候補生
任中尉	眞鍋 恵候補生
二〇二二年三月二十一日付	
補仙台小隊小隊長士官	眞鍋 恵中尉
補仙台小隊小隊長士官	眞鍋 恵中尉
二〇二二年三月二十五日付	
東軍遺族連隊本部付 過二二の任を解く	田中千枝子少佐
二〇二二年三月二十四日付	
司令官	ケネス・メイナ―
任命	
財務管理部	財産部長
二〇二二年四月一日付	倉持 徹
新施設長	
桑園保育所施設長	盛田礼子
二〇二二年四月一日付	
司令官	ステイブン・モリス

青木素枝家庭団書記 天に召さる



若松小隊の青木素枝家庭団書記は、2月1日、午前4時57分、入所しておられた介護医療院「さくら」にて召天しました。98歳でした。

1962（昭和37）年に兵士となり、1975（昭和50）年に家庭団書記の任を受け、小隊を支え、忠実にキリスト者としての生涯を全うされました。昨年2月に伺った時には、「私はイエス様に救われて本当に感謝です」と輝く笑顔で力強くお話しされていました。純粋な信仰姿勢を守り通されました。

葬儀は前夜式が2月3日、告別式が2月4日、どちらも関東東北連隊長藤井健次大佐補の司式で、若松小隊にて家族葬で執りおこなわれました。御遺族、関係者の皆様の上に、神様の御慰めと御祝福をお祈りいたします。（連隊報）



青木千恵子名誉会計 天に召さる

静清小隊の青木千恵子名誉会計は、2月26日、入所中の施設で、召天しました。95歳、3月16日に誕生日を迎える直前でした。

長年、兵士・下士官として小隊を支え、保育園園長として、乳幼児のために尽くしてこられました。召される間際まで、手を組んで祈りの姿勢をとり、部屋に流れる園児たちの歌声や救世軍の曲に合わせて指揮をしていたそうです。まさに、神と人ともに仕え、保育にささげた生涯でした。

告別式は、3月4日、東京東海連隊長石川和男少佐の司式でおこなわれました。前日の「お別れの時」には、戦友、保育園職員・関係者はじめ、ギデオン協会の方々、元小隊士官等、多くの方が集いました。御遺族の上に、神様の御慰めと御祝福をお祈りいたします。

女性部ラリー ご案内

新軍国女性部会長を迎えて初めての女性部ラリーです。ウェンディ・モーリス大佐からの動画メッセージを配信いたします。



救世軍
女性の働き

- ・北海道連隊 6月16日(水)午後 オンライン
- ・関東東北連隊 関東地区 5月18日(火)オンライン
東北地区 6月23日(水)～24日(木)オンライン
- ・東京東海道連隊 5月12日(水)10時～12時
オンライン
- ・西日本連隊 開催は中止(ただし、紙面による交流を計画します)



Welcome!
Our new leader

ペンテコステ 5月23日

PENTECOST

2021

あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。(使徒言行録1章8節)



6月13日(日)午後3時
救世軍創立 156 年記念
オンラインコンサート
YouTube Liveにて配信

第5回社会鍋俳句コンテスト
受賞者発表も併せて配信します。

医療サンデー
6月6日

救世軍の医療の働きと共に
全世界の医療従事者のため、
祈りましょう。
特に新型コロナウイルスの
脅威の中にある医療従事者
を覚えて、神様のお守りと
お導きを祈りましょう。

■しもべあの大冒険 4月4日(日)より、日本 CGNTV と共同制作の子ども番組『しもべあの大冒険』の配信が始まりました! まりちゃんと、しもべあのペーくんが神様のことを知っていく冒険に出ます。毎週日曜日午前10時30分に配信。みんなの質問、聖書のメッセージ、賛美コーナーなど、楽しい番組です。どうぞご覧ください!

◇救世軍青少年部公式 YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UC30BWRS5GUCGQAV1TKPc1A>

◇日本 CGNTV 公式 YouTube から視聴可能



7月4日～18日
こども伝道週間

全国青年デー(オンライン zoom)

5月4日(火)、5日(水)

対象年齢:12～30歳

参加費:無料

テーマ聖句「彼らが主に献げ物を正しくささげる者となるためである。」(マラキ書3章3節)



特別ゲスト(5日出演):岡本依子師
(元オリンピック選手、テコンドー銅メダリスト)

開催方法:今回は、すべてzoomでおこないます

※詳細は青少年部からの案内を御参照ください

発行日及び定価
▼発行日 福音版・毎月一日発行
広報版・奇数月十五日発行(除く七月)
▼定価(税込)
福音版・一部 四〇〇円
広報版・一部 一〇〇円
クリスマス特集号 十二月一日発行
振替・一部 一〇〇円
振替・〇〇一八〇五十四四〇〇

発行兼 救世軍
印刷人 代表者スティーブン・モーリス
編集人 山谷 真

〒101-0051 東京都千代田区
神田神保町二ノ十七
電話 東京(03)三三七〇八八一
発行所 救世軍本営
印刷所 株式会社ビーアンドエス

(取扱支部)